

富士宮信用金庫の環境への取り組みについて

富士宮信用金庫では、令和元年11月27日に「静岡県東部4信金共同SDGs宣言」を行い、静岡県東部・伊豆地域の持続的な発展のために、信用金庫の機能と役割を発揮し「環境」「社会」「経済」の各分野で連携して取り組み、地域活性化に取り組んでおります。

静岡県東部4信金共同SDGs宣言では、「環境」の分野において、環境保全とCO2削減のテーマに対し具体的な取組を計画し、SDGs目標の達成に向け活動しております。

【環境保全活動】

地域貢献活動の一環として、毎年8月、役職員ならびにその家族で富士山一斉清掃活動（富士宮市主催）に参加し、世界文化遺産である富士山の美しい自然を守り、文化・歴史を末永く後世に継承していくため、富士山の環境保全活動を続けていきます。

【CO2削減フィルム生地通帳・証書袋の使用】

CO2削減フィルム生地の通帳・証書袋は、焼却時に二酸化炭素を50%削減でき、環境に配慮した商品となっています。証書袋は平成23年5月より使用しており、通帳袋は平成24年8月より使用しています。

【粗品配布用の白色ポリ袋の使用中止】

環境への負荷軽減を目的として、粗品配付時に使用していたポリエチレン製袋の使用を中止しました。

【クールビズ・ウォームビズの定期実施】

クールビズ・ウォームビズを定期実施し、適正な室温設定維持に努めることでCO2の排出量を抑制し地球温暖化の防止に貢献します。

【環境配慮型店舗の開設】

- 平成25年5月、芝川支店を建て替え、駐車スペースを雨水浸透型とし一部を緑化駐車場としました。
- 平成27年6月、北支店を建て替え、太陽光発電システムを設置するとともに、店内照明は省エネタイプのLEDとしました。
- 平成30年4月、東町支店を建て替え、店内照明を省エネタイプのLEDとしました。